

仕様

< NIJI-3-1708007N >

型 式	NIJI-3 波長可変光源（紫外光強カタイプ）
光 源	キセノンランプ150W
照射波長領域	300～1150nm
波長純度	5・10・20nm（購入時に1種類選択）
照射強度	1mW以上 *1
照射面積	Φ3mm以上 *2
波長確認	インジケータ
シャッター	手動
光ファイバ	バンドル径Φ3mm光ファイバ 長さ1m

*1 波長純度20nmで波長320nmにおいて *2 光ファイバ先端とサンプルとの距離で照射面積を変更できます。

オプション

● Siフォトダイオード検知器

各波長毎の光量(mW/cm²)を算出する為の値付けされた検知器です。

● 光ファイバ固定用スタンド

光ファイバを固定する為のマグネット式スタンドです。

● 回折格子

400nmや500nmプレーズを選択することで、可視光を大光量で照射できます。

● 記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります

外形寸法（単位:mm）



約W211(216)× D295(347.3)× H301(315.2) mm
カッコ内は突起部分を含めた寸法です

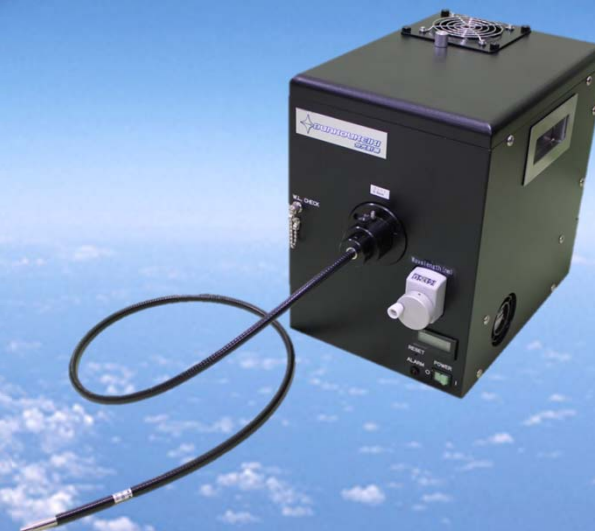
製造元 **BUNKOUKEIKI**
分光計器株式会社
<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場 〒192-0033
東京都八王子市高倉町4-8
TEL 042(646)4123 FAX042(644)3881

東日本営業所 〒113-0034
東京都文京区湯島3-23-1（天神弥栄興産ビル4階）
TEL 03(3837)1021 FAX03(3837)1023

西日本営業所 〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新3-24-5（クリスタルビル2階）
TEL 06(6323)4502 FAX06(6323)4902

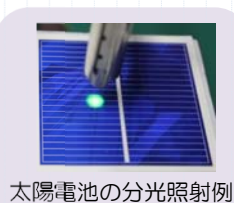
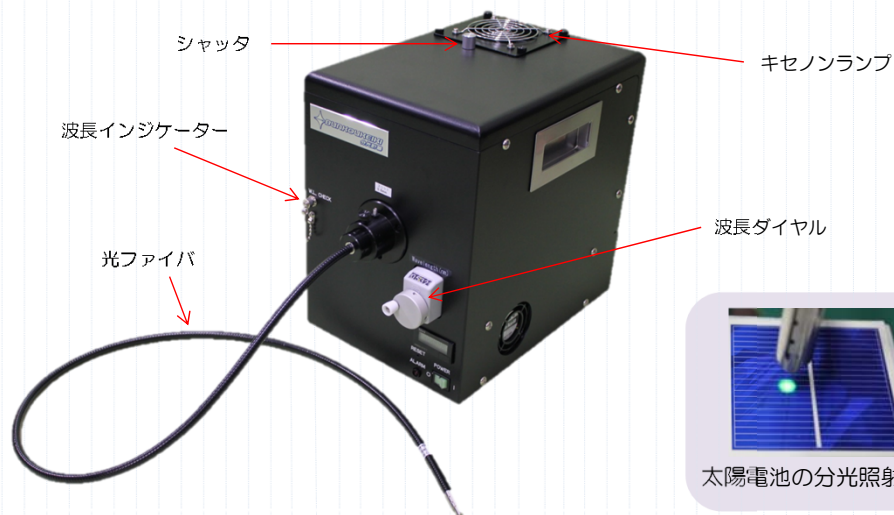
NIJI-3 波長可変光源（紫外光強カタイプ）



- 紫外領域強化型構造の採用で紫外光強度が従来の約2倍
- このクラス最小の設置面積（A4サイズ相当）
PC不要で省スペース
- 波長インジケータ搭載で安心設計

BUNKOUKEIKI
分光計器

NIJI-3 波長可変光源



一般的なキセノンランプとバンドパスフィルターを組み合わせた照射光源は、装置自体は安価である一方、照射波長を自由に選択出来ないことや照射したい波長を複数選択するために、光学フィルタを何枚も用意する必要があるなどの問題がありました。

NIJI-3 波長可変光源は、光源部分を紫外領域強化型に変更し、更に紫外領域に高効率な回折格子を採用することで、従来のNIJI-2に比べ、紫外光強度が約2倍以上になりました。(波長300~400nmにおいて)
波長を選択した紫外光による劣化試験や蛍光測定用の励起光源・紫外光反応など、さまざまな用途に最適です。

主な用途



光触媒
光化学反応

光触媒やフォトリソミックなどの強力な励起光源として自由に波長を選択して照射することが出来ます



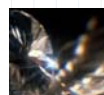
太陽電池の分光特性評価
CCD・フォトセンサーの分光特性評価

光電変換素子の波長特性を測定する光源として自由に波長を選択して照射することが出来ます



細胞光刺激
光合成反応

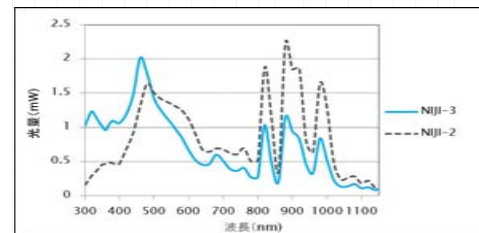
光照射による細胞の活性化を調べたり、光合成に有効な波長を自由に選択して照射することが出来ます



照明用光源
顕微鏡用光源

単色照明光源、顕微鏡用の蛍光励起光源などに有効な光源です

紫外光を強力照射（1mW以上）を達成

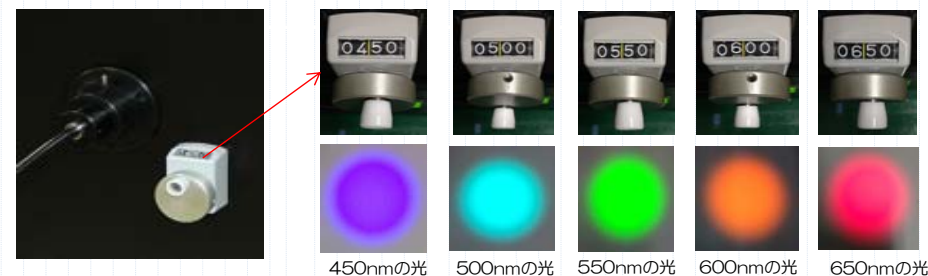


* 波長純度20nm選択時 バンドルファイバΦ3mm 全光束入射時において *

紫外光（300~400nm）を高出力で単色光照射が出来ます。
照射ヘッドはバンドル光ファイバを採用し、さまざまな用途に合わせて自由な面積で照射出来ます。

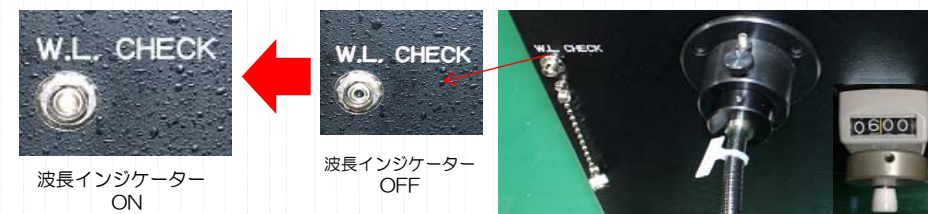
ダイヤル操作で、照射波長を自由に選択

ダイヤルを廻すことで、照射したい波長を0.1nm単位で自由に選択出来ます。



450nmの光 500nmの光 550nmの光 600nmの光 650nmの光

波長インジケータ搭載で安心設計



照射波長を600nmに選択すると、装置に問題が無ければ、W.L.CHECKのインジケータが点灯しますので、安心してお使い頂けます。

このクラス最小の設置面積（A4サイズ相当）



従来製品はキセノンランプ、光学系、モノクロメータがそれぞれ独立していましたが、NIJI-3は一体構造で省スペースを実現。波長選択もPC不要で、持ち運びに便利な取っ手付軽量設計です。